



「国際センターだより」では、土木学会の国際活動の一端を紹介しています。国際センターが毎月発行している「国際センター通信」と合わせて是非ご一読ください。

News Pick Up !!

米国土木学会 (ASCE) 年次大会に参加



ASCE会長3名が大石会長を囲む

2017年10月8～11日にルイジアナ州ニューオーリンズ市にて米国土木学会 (ASCE) の年次大会が開催された。例年、多数のセッションと同時に、ASCEの事業報告、会長の交代式、賞の授賞式も行われ、土木学会の総会と全国大会が一つになったような会合である。毎回多数の学生会員が参加し、熱心にセッションに聞き入る姿が印象的である。

今回、土木学会から大石久和会長、塚田幸広専務理事をはじめとする派遣団が参加した。毎年、幅広いテーマでセッションが行われるが、近年はインフラ維持管理、老朽化、防災、資金調達関連が増えている印象を受ける。

大会中、ASCE幹部とミーティングを持った。ASCEからは、2017年から19年の会長3名、専務理事、国際部長などが参加し、意見交換を行った。大石会長からインフラ老朽化、維持管理等のテーマで情報交換や共同研究を提案したところ、ASCE側も共通の課題意識を持つ様子で興味を示していた。引き続きASCEと交流を図り、実現に努めたい。

本大会開催地であるニューオーリンズ市は、2005年8月ハリケーンカトリナによって甚大な被害を受けている。今の町は復興した姿を見せているものの、足を止めれば壁には水が被った跡、レンガ造りの家の内部は住人が居たことを拒否するかの

ような様子が目に入った。この災害は次世代への教訓として語り継ぐべきことと再認識をした。

大韓土木学会 (KSCE) 年次大会に参加

2017年10月18～20日に、韓国・釜山市にて大韓土木学会 (KSCE) の年次大会が開催された。土木学会から派遣団として、副会長兼国際センター長の上田多門教授 (北海道大学)、土木情報学委員会から矢吹信喜教授 (大阪大学) と蒔苗耕司教授 (宮城大学)、他が参加した。現地にて土木学会韓国分会会長の金在權氏、前韓国分会会長の李東郁氏と合流した。

今回、国際ラウンドテーブル、国際学際フォーラム、土木リーダーズネットワーク (CELeN) ミーティングの各会議に前述の3氏が話題を提供した。蒔苗教授と矢吹教授は、インフラマネジメントにおけるBIM、AI等の先端技術の導入や有用性、課題を議論し、聴衆の関心を引いた。上田教授は、インフラ維持管理の意義を問いかけた興味深い議論であった。KSCEからは、この3氏の厚みある講演に対する感謝と今後も情報交換をしたいとの意見をいただいた。なお、CELeNは韓国内の外国人を主体とした若手研究・技術者のネットワークである。

最後に、ウェルカムレセプションでKSCE合唱団の伸びやかな歌声を聞き、土木学会会員を中心とした男声合唱団であるシヴィル・クワイアとの合同演奏会を期待したくなった。



国際ラウンドテーブルで講演に聴き入る参加者

Event Calendar

国際センターが企画するイベント (行事) については、以下のURLでアクセスし、「イベント情報&開催報告」をご覧ください。

<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/>

News Pick Up ! と Event Calendar の詳細は、毎月発行の「国際センター通信」をご覧ください。「国際センター通信」は下記の学会ホームページ (日本語版・英語版) からアクセスできます。また、メール配信を希望される方は、国際センター事務局までメールにてお申し込みください。 ※国際センター事務局 e-mail : iac-news@jsce.or.jp

- 日本語版 HP : <http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/26>
- 英語版 HP : <http://www.jsce-int.org/pub/iacnews>
- Facebook : (日本語版) <http://www.facebook.com/JSCE.Jp/>
- (英語版) : <https://www.facebook.com/JSCE.en>